

平成29年予算決算委員会会議録

1. 招集年月日 平成29年3月17日
2. 招集の場所 可児市役所全員協議会室
3. 開 会 平成29年3月17日 午前8時59分 委員長宣告

4. 審査事項

審査事件名

- 議案第1号 平成29年度可児市一般会計予算について
- 議案第2号 平成29年度可児市国民健康保険事業特別会計予算について
- 議案第3号 平成29年度可児市後期高齢者医療特別会計予算について
- 議案第4号 平成29年度可児市介護保険特別会計予算について
- 議案第5号 平成29年度可児市自家用工業用水道事業特別会計予算について
- 議案第6号 平成29年度可児市農業集落排水事業特別会計予算について
- 議案第7号 平成29年度可児市可児駅東土地区画整理事業特別会計予算について
- 議案第8号 平成29年度可児市土田財産区特別会計予算について
- 議案第9号 平成29年度可児市北姫財産区特別会計予算について
- 議案第10号 平成29年度可児市平牧財産区特別会計予算について
- 議案第11号 平成29年度可児市二野財産区特別会計予算について
- 議案第12号 平成29年度可児市大森財産区特別会計予算について
- 議案第13号 平成29年度可児市水道事業会計予算について
- 議案第14号 平成29年度可児市下水道事業会計予算について
- 議案第15号 平成28年度可児市一般会計補正予算（第5号）について

5. 出席委員 (20名)

委員長	可児慶志	副委員長	高木将延
委員	林則夫	委員	亀谷光
委員	富田牧子	委員	伊藤健二
委員	中村悟	委員	山根一男
委員	川合敏己	委員	野呂和久
委員	川上文浩	委員	酒井正司
委員	天羽良明	委員	勝野正規
委員	板津博之	委員	伊藤壽
委員	出口忠雄	委員	渡辺仁美
委員	田原理香	委員	大平伸二

6. 欠席委員 なし

7. その他出席した者

議 長 澤 野 伸

8. 説明のため出席した者の職氏名 なし

9. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長 吉 田 隆 司

議会事務局
議 書 記 村 田 陽 子

議会事務局
議会総務課長

松 倉 良 典

議会事務局
議 書 記

林 桂 太 郎

○委員長（可児慶志君） 皆さん、おはようございます。

出席委員も定数に達しておりますので、ただいまから予算決算委員会を再開いたします。

本日は、本委員会に付託されました議案第1号から議案第14号までの平成29年度各会計予算、議案第15号 平成28年度可児市一般会計補正予算（第5号）についての討論及び採決を行います。

発言される方は挙手をして、委員長の許可を得てからマイクのスイッチを入れて発言をしてください。

議案第1号から議案第14号までの平成29年度可児市各会計予算及び議案第15号 平成28年度可児市一般会計補正予算（第5号）についてを一括議題といたします。

まず、各議案について反対の討論及び賛成の討論の確認を行います。

討論がある議案については個別に採決を行います。

まず反対討論のある方、挙手をお願いいたします。

○委員（富田牧子君） では、議案第1号 平成29年度可児市一般会計予算についての反対討論を行います。

これまで費用を全額JR東海が自己負担すると言っていたリニア中央新幹線に、国は総額3兆円の貸し付けを行い、リニア中央新幹線に巨額の公費がつき込まれることになりました。技術、安全、環境面で問題が指摘されるリニア中央新幹線事業には反対です。新年度予算にも、リニア建設推進期成同盟会分担金が含まれています。

また、リニア中央新幹線の掘削残土の汚染土壌処理を請け負うプラント工場が市内に開業を予定し、周辺住民への影響が懸念されます。公害防止協定を初めとするしっかりした規制対応を求めます。

3・11東日本大震災から6年たった今も、福島第一原子力発電所事故によって8万人を超える人々が避難を余儀なくされています。国は平成29年3月の末に一方的な避難指示解除の方針を押しつけ、賠償や自主避難者への住宅支援を打ち切ろうとしています。

しかし、日々新たにふえ続ける放射能汚染水の総量は100万トンを超え、敷地内には1,000基のタンクがひしめいている福島第一原子力発電所では、いまだに事故収束のめどは立っていません。原子力発電所の汚染物質の埋設候補地と取り沙汰されているような瑞浪市にある超深地層研究所にかかわる電源立地地域対策交付金の受け取りには反対です。

あわせて、先日から始まった土岐市核融合科学研究所での重水素実験についても、放射性トリチウムや放射性廃棄物が本当に可児市民に何の影響ももたらさないのか、注意深く見守っていく必要があると思います。

下水道の整備等に併う一般廃棄物処理業の合理化に関する特別措置法によるグランドルールについて、一般廃棄物処理業者は20年間にわたる代替業務支援で十分に転換業務の経験が蓄積されたので、他企業との競争にも十分耐え得ると考えています。これ以上の随意契約による代替業務の提供はやめるべきです。ところが、来年度以降もこれまで同様の提供を続け

るとしています。この制度については抜本的な見直しを行うべきです。

社会保障関連では、国は社会保障費の自然増分1,400億円を抑制し、社会保障の各分野で国民に負担増と給付減を強いています。75歳以上の高齢者の後期高齢者医療保険事業では、これまで実施していた低所得者に対する保険料の軽減措置を縮小し、保険料が負担増となります。

介護保険では、第6期介護保険事業計画の第3年目に当たり、通所型、訪問型の介護予防生活支援サービスから、要支援1、2の人が地域支援事業に移され、サービスが縮小されました。特別養護老人ホームの入所は要介護3以上となりました。一部の人については利用料の2割負担も発生しています。保険あって介護なしの状況が進行中です。後期高齢者医療と介護保険に反対をいたします。

しかし、新年度予算には国民健康保険税額の引き下げを初めとして、亜炭鉱廃坑状況図作成や障害者福祉施設4カ所の開所、空き家・空き地活用促進事業助成、小・中学校就学援助補助単価の引き上げなど、日本共産党可見市議団としてこれまで要望してきたことが実現することは評価したいと思います。

また、保育所の拡大で待機児童の解消を図る努力は評価するところですが、保育の問題は量とともに質も問われる問題です。認可保育も認可外保育園も、保育の中身が子供の発達や安全を保障するものになっているのかといった視点から点検していくことが求められています。

次に、議案第3号 平成29年度可見市後期高齢者医療特別会計予算についての反対討論を行います。

2年ごとに値上げが繰り返される後期高齢者医療では、4月から低所得者に対する保険料の軽減措置が縮小されます。所得割は5割軽減から2割軽減に、被用者保険加入者の扶養家族から後期高齢者医療に移られた人の定額部分は9割軽減から7割軽減になり、可見市ではおよそ1,900人規模が影響を受けると予測をされます。保険料を払えない状況をますます深刻化させ、取り立てが加速する危険があります。医療に係る土台を掘り崩す保険料アップは中止すべきです。

次に、議案第4号 平成29年度可見市介護保険特別会計予算について反対討論を行います。

介護保険は制度開始以来、次々とサービスの切り下げが行われてきました。第6期でも要支援1、2を保険給付から外して地域支援事業に移し、特別養護老人ホームへの入所も要介護3以上としました。また、一部の人には利用料の2割負担となりました。

国はさらに2018年度からの第7期介護保険事業でも高額介護サービス費用の月額負担額上限の引き上げや利用料の3割負担を導入しようとしています。

現在、介護給付費準備金は3億8,000万円です。次期の保険料に充当するということがですが、第4期介護保険事業では、介護給付費準備金3億2,000万円を使って介護保険料が値下げをされました。第7期もこの3億8,000万円の介護給付費準備金を使って介護保険料を値下げし、市民の負担を軽くすることを願っています。以上です。

○委員長（可児慶志君） ほかに反対討論はございませんか。

〔挙手する者なし〕

ないようですので、賛成討論のある方。

賛成討論のある方は、順次どれでもいいです。

○委員（川合敏己君） 私は、議案第3号 平成29年度可児市後期高齢者医療特別会計予算について、賛成の立場から討論をいたします。

本市も超高齢社会となり、今後もさらに高齢化が進むことが予想されております。そのため、後期高齢者医療制度についても、安定的な財政運営がなされなければなりません。

新年度の後期高齢者医療特別会計の予算総額は10億7,600万円となっており、そのうち95.9%に当たります約10億3,200万円は、保険者である県の後期高齢者医療広域連合に対し、保険基盤安定負担金や保険料、そして事務費等が納付金として納められております。

また、保険料の賦課は後期高齢者医療広域連合が行い、保険料の徴収は市が行っており、後期高齢者医療広域連合との役割分担等、制度の運営も適切に行われております。

以上のことから、後期高齢者医療特別会計では後期高齢者医療広域連合との連携による健全な財政運営や事業運営が安定的に図られると考え、本議案に賛成をいたします。以上でございます。

○委員（田原理香君） 私は、議案第1号 平成29年度可児市一般会計予算について、賛成の立場で討論いたします。

予算の規模は前年度対比20億4,000万円増で6.5%増と、前年度に引き続き大きな伸びであるとともに、3年連続で過去最大となっております。一層の市民サービスの向上と持続的発展を目指そうとする積極的な姿勢のあらわれであると思われまます。

また、予算とあわせてチェックすべき実質公債費比率など、財政の健全化を示す指標は、毎年度の決算で確認しているとおりに健全財政を維持し続けています。

歳入の根幹となる市税は、前年度対比約10億3,000万円、7.5%増で市民税及び固定資産税ともに堅調な伸びが見込まれています。これは、これまでの企業誘致の成果なども影響していることがわかります。

また、市の借金に当たる市債も、臨時財政対策債12億円を除けば交付税措置があり、財源的にも有利な合併特例債で今年度への財政負担を十分に考慮した積極的な市債の活用であります。

平成29年度もこれまでの4つの重点方針を継続し、市民にとって連続性のある非常にわかりやすい予算として組み込まれています。

重点方針1の高齢者の安気づくりにおきましては、地域包括支援センターを1カ所増設し、6カ所とすることで、センターの機能の強化や効率化によって支援を必要とする高齢者の見守り体制の充実が図られるものと思ひます。

重点方針2の子育て世代の安心づくりにおきましては、待機児童をなくすための保育施設の整備、保育者ニーズに対応するキッズクラブの拠点方式による毎週土曜日開設や施設の整

備、市民団体が行う子育て支援活動への助成制度の創設、外国籍児童の増加に対応するばら教室K A N I 増築に向けた準備など、市が提供するマイナス10カ月からつなぐ、学ぶ、かかわる子育てを着実に進めようとしていることが認められます。

重点方針3の地域・経済の元気づくりでは、小規模事業者や創業希望者の相談窓口の開設や融資制度の改善を行うとともに、若者の地元企業への就職を促進する施策や住宅施設リフォーム助成金の継続など、経済の基盤となる商工業振興への積極的な姿勢が示されています。

重点方針4のまちの安全づくりにおきましては、いつ発生してもおかしくない大地震の発生に備えるため、地域の防災力の強化、防災訓練、避難所備蓄品の充実など、災害対策の一層の推進が図られるものであります。

また、安全な市民生活に欠くことのできない道路施設などのインフラ整備も、限られた財源の中で一定の予算規模が確保されていることと認められます。

以上のように、平成29年度一般会計予算は、可児市が目指すまちの姿をしっかりと見据え、今すべきことを十分に精査した予算であると思います。本予算が適正かつ効率的に施行され、一層の市民福祉の向上と可児市の発展につながることを願いまして、賛成討論といたします。以上です。

○委員（伊藤健二君） 私は、議案第2号 平成29年度可児市国民健康保険事業特別会計予算についての審議に当たって、賛成の討論を行います。

日本共産党可児市議団は、これまで高過ぎる国民健康保険税の引き下げを求めて取り組んでまいりました。

今、全国の国民健康保険の状況は、滞納問題、あるいは資格証世帯の数、あるいは支払い能力を超えたやり方での差し押さえ徴収等さまざまな問題を持っています。滞納世帯では約312万世帯、後期高齢者医療においては滞納世帯が23万人に及ぶと厚生労働省が発表いたしました。

正規証の取り上げで、国民健康保険は118万5,000世帯、後期高齢者医療保険では2万3,000人に保険証が届いておりません。かわって短期証やその他の措置がとられています。

こうした支払い困難な人に対する対応は、第一には支払い能力を超えた高い国民健康保険料・国民健康保険税が原因となっている。当然、支払い能力のない人については医療が手おくれとなり、命を落とす事例、悲劇が後を絶ちません。こうした中であって、払える国民健康保険料に引き下げをする、払える国民健康保険税にすることは、全国的にも大きな課題となっております。

今、可児市では、こうした中で国民健康保険資格証の発行については、徴収率の向上の効果、収納率向上に効果がないという判断のもとでどうしても出さざるを得ない事例に対しては出しますけれども、基本的には短期保険証等で対応してまいりました。しかし、近年の傾向を見ると、収納率向上を国から競わされて、財産差し押さえ等に件数が上がってきている改善点もまだ見られております。

昨年、2016年の9月に、私は国民健康保険の支払いにかかわって国民健康保険税の引き下

げを市長に求めました。その後、可児市当局ではいろいろ検討を重ね、今回の予算措置の中で医療分平等割の5,000円引き下げ、料率改正を提起し、今回審議されているところであり
ます。

ここでは総額で7,000万円を超える財源措置をとり、少しでも市民の暮らしへの応援となる
ようにということで、こうした市長の決断、提案を評価し、今回、この国民健康保険事業
特別会計案に賛成をいたすものであります。今後とも国民健康保険税の引き下げを求め、頑
張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○委員（渡辺仁美君） 私は、議案第4号 平成29年度可児市介護保険特別会計予算について、
賛成の立場から討論いたします。

本市における65歳以上の人口に相当する第1号被保険者数は、2万6,000人を超えました。
要介護認定者は約3,800人という状況です。そして、要支援・要介護となっていく割合の高
い75歳以上の人口が急速に増加すると予想されます。今後まず力を入れていくべきは、支援
や介護に頼らず元気に暮らせるようにするための介護予防支援であります。

また、認知症予防対策についても力を注がねばなりません。そして、くしくも支援や介護
が必要となった市民には、サービスが過不足なく提供される体制づくりが必要です。

さらに、これからは介護の専門家によるチームワーキングに加え、地域の人たちで見守り
支え合う、そんな仕組みづくりを急がねばなりません。

本市では、平成28年度から介護予防日常生活支援総合事業が始まりました。高齢者の集ま
る地域のサロンなどで介護予防への取り組みについて支援を行っております。新年度におい
ても、介護予防を積極的に展開する予算が確保され、総合事業の充実や介護保険サービス給
付に対する予算が適正な予算額として確保されていると考えます。

以上のことから、平成29年度可児市介護保険特別会計予算について評価をいたし、賛成の
討論とするものです。以上です。

○委員（野呂和久君） 議案第1号 平成29年度可児市一般会計予算について、賛成の立場か
ら討論いたします。

小学校の児童への学習支援として、スマートフォン等を活用した事業や、アレルギー対応
システムの導入により、給食の安全・安心につながる取り組みを導入することを評価いたし
ます。

高齢者の安気づくりでは、地域密着型特別養護老人ホームや、小規模多機能型居宅介護事
業所の整備など、将来に備えた施設整備が進められます。

子育て世代の安心づくりでは、増加する保育ニーズに対応し、定員増による私立保育園の
施設整備や公立保育園の大規模改修、空調整備など保育環境の整備に力を入れています。

以上の点などを評価し、議案第1号 平成29年度可児市一般会計予算に賛成をいたします。

○委員長（可児慶志君） ほかはよろしいでしょうか。

〔挙手する者なし〕

ほかにないようですので、以上で討論を終了いたします。

これより議案第1号 平成29年度可児市一般会計予算について採決を行います。

挙手により採決を行います。

原案に賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

挙手多数であります。よって、議案第1号 平成29年度可児市一般会計予算については、原案のとおり可とすべきものと決定をいたしました。

次に、議案第2号 平成29年度可児市国民健康保険事業特別会計予算について採決をいたします。

挙手により採決を行います。

原案に賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議案第2号 平成29年度可児市国民健康保険事業特別会計予算については、原案のとおり可とするべきものと決定をいたしました。

次に、議案第3号 平成29年度可児市後期高齢者医療特別会計予算について採決をいたします。

挙手により採決をいたします。

原案に賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

挙手多数であります。よって、議案第3号 平成29年度可児市後期高齢者医療特別会計予算については、原案のとおり可とすべきものと決定をいたしました。

次に、議案第4号 平成29年度可児市介護保険特別会計予算について採決をいたします。

挙手により採決を行います。

原案に賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

挙手多数であります。よって、議案第4号 平成29年度可児市介護保険特別会計予算については、原案のとおり可とすべきものと決定をいたしました。

続いて、議案第5号 平成29年度可児市自家用工業用水道事業特別会計予算についてから議案第14号 平成29年度可児市下水道事業会計予算及び議案第15号 平成28年度可児市一般会計補正予算（第5号）についての11議案について一括採決をいたします。

挙手により採決をいたします。

原案に賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

挙手全員であります。よって、本11議案は原案のとおり可とすべきものと決定いたしました。

以上で、本日の当委員会の会議の日程は全部終了いたしました。

それでは、お諮りをいたします。

本日審査いたしました案件に関する委員長報告の作成につきましては、委員長・副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

御異議なしと認めますので、そのようにいたします。

以上で終了してもよろしいでしょうか。

〔挙手する者なし〕

それでは、これにて予算決算委員会を閉会といたします。お疲れさまでした。

閉会 午前9時23分

前記のとおり会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成29年3月17日

可児市予算決算委員会委員長